

# 移動体通信端末

jj1guw

昨年、諸般の事情により携帯電話をVodafoneに切り替えた。  
今までは海外出張の際に某移動体電話会社の国際Verを借りて海外対応を行っていましたが、昨年は6日／月のペースで海外出張を行っており各Prj担当がその都度、当方の連絡先が変更になるので不便とのクレームが発生したことを契機に移動体端末変更を行いました。

これがまた想像していた以上に便利！！日本で使用している携帯電話をそのまま海外に持っていきだけで、音声、メール、写メがそのまま使える。  
当然携帯電話に登録されている海外現地の電話にも通話できる。  
正直、この使い勝手には驚いた。上司、部下、顧客からの様々な電話やメールが節操無く来るではないか。お客様は仕方がないが社内から、「以下の件、了解」との100数十円のメールが来るのには閉口する。  
なんとなく3G端末を所有して海外に行き、音声通話やメールを使用していたら請求金額が恐ろしく高額になるのは容易に想像がつく。このくらい国内外の差を感じないで使用ができる。溜池山王にある某移動体通信の本社が焦る訳だ！

料金体系は割高になります。メール1通が100数十円、音声通話は国際料金  
なんと、現地にいて現地に向けた場合でも国際料金で課金されます。  
(利益を出すビジネスモデルですねHi)  
当方、現地ではGMS方式の携帯電話を持っていますので安料金で使用していますが。  
(1通話: 数円程度)

今年から移動体端末の電話番号の会社間での持ち回りが可能と成るようですがGSMの世界では既に行われています。移動体通信会社のビジネスモデルが日本とは異なり中国では端末本体が日本に比べて異常に高い。最近出た端末は10万円を超える端末も有りました。日本では型落ち端末や新規契約ですとタダに近い金額ですが、中国ではカメラ付き端末は3万円程度します。この端末とは別に使用料金をプリペイドカードで決済します。細かいルールは色々あるようですが、例えば大連で電話番号を取得すると、大連地区のプリペイドカードしか登録(決済)できない。当方は北京、西京などに行きますので常に大連でプリペイドカードを数枚(1枚1,500程度)購入しております。これを北京で決済させれば使用可能に成ります(北京や西京で電話番号を購入すれば良いのですが)。最悪の場合は大連の会社に連絡を行い、チャージさせます(別地域での使用は割高料金)。

GSMではSIMカードにチャージ情報、電話番号や電話帳などの情報を持っているので自分の端末が突然故障した場合にでも、自分のSIMを抜き、友人の端末を借りて自分のSIMを入れれば使用できます(自分の端末が故障したのでしばらく使用できない、などの情報を知人に知らせることができます)

当然、移動体端末にも偽物は存在します。全く同じに使用できますが、最大の弱点は修理の受付が拒否されることだそうです。どこで見分けるのかは不明ですが、値段が安い事と電池の持ちが悪い事くらいだそうです。

また別の機会に報告を行いますが、各種偽ブランド品にもABCのランクがあり最高ランクのものは本物と区別が付かないらしい。。本物のブランドが出している「鑑定の手引き書」をベースに鑑定ポイントをクリアさせて製造をしているようです。ブランド鑑定人が鑑定を行っても鑑定不能と成るようです(本物とは言わないらしい)

、

れ

キ

、

、  
二